

議会だより

一般質問

…… P4～11

- 使用済パソコンの無料回収
- 憩いのカフェサロン冷房設置
- 教員不足の補充方策
- 加齢性難聴者補聴器購入助成
- ふるさと納税の寄附単価

- 幼児教育アドバイザーの配置
- 「稼ぐ行政」への転換
- インフラや行政サービスの集約
- 災害時における応援協定
- 市の地下水の状況

- 市長が描く10年後の十和田市
- 市の農業の展望
- 資格確認書の対応
- 生ごみ回収事業の方向性
- おらんどーむ改修の財源

目次

議案審議の状況 …………… P2
令和8年度予算審査 …………… P3
本会議・各委員会の議員出欠状況 …… P11
常任委員会所管事務調査等 …………… P12

各議員のページのQRコードからYouTube録画中継を見ることができます。

議案審議の状況

3月定例会

令和8年第1回定例会は、2月24日から3月18日まで23日間の会期で開かれました。十和田市行政手続条例の一部を改正する条例の制定についてなど、議案34件（発議3件を含む）、報告3件、同意5件が上程され、発議が1件否決、その他は原案のとおり可決されました。

十和田市立中央病院に準個室の入院室を新たに設置 **可決**

4人部屋のベッドの横の間仕切り家具を設置し、一定程度プライバシーに配慮した病床を設置することに決まりました。

◆開始日：令和8年6月1日～



準個室の入院室専用使用料

区分	金額
市内居住者	1,100円/日
市外居住者	1,540円/日

①議長、副議長、議員の議員報酬月額を改定 **可決**

②市長、副市長、教育長、病院事業管理者の給料月額を改定 **可決**

特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、改定（1.5%増額）されました。

議員提案

十和田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 **否決**

精神病床を15床削減する案が否決されました。

賛否が分かれた議案の審議結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退出、「－」は議長（原則、表決に加わりません。）
「除」は除斥（審議案件と一定の利害関係を有するため、審議に参加することができない者）

議案番号	議員名 (議席順)	議員名																	審議結果			
		山端美樹子	小山田剛士	太田正幸	竹島直樹	笹島尚	山田洋子	今泉信明	中嶋秀一	中尾利香	小笠原良子	山端博	氣田量子	斉藤重美	久慈年和	江渡信貴	堰野展雄	工藤正廣		小川洋平	戸来伝	石橋義雄
議案第3号	十和田市議会議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	×	○	×	×	○	欠	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	－	可決
議案第4号	十和田市特別職の職員の給与に関する条例及び十和田市病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	×	○	×	×	○	欠	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	－	可決
議案第13号	令和8年度十和田市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	可決
議案第20号	令和8年度十和田市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	可決
発議第3号	十和田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	×	×	○	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	－	否決
議案第31号	令和7年度十和田市病院事業会計補正予算（第6号）	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	可決

令和8年度一般会計当初予算

366億5,000万円を可決!

前年度当初比27億6,000万円(約7%)減

一般会計、特別会計、企業会計の各予算は、全議員で構成される予算審査特別委員会による審査を経て、本会議で可決されました。事業の一部をお知らせします。

保育料無償化事業

6,367万6千円



子育て世帯の経済的負担を軽減するため、全ての子供の保育料を完全無償化します。

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会

3億3,106万8千円



公式マスコットキャラクター
アップリット君

本市を訪れる全ての方々を温かくお迎えし、市民一丸となって大会を盛り上げ、市の魅力を発信します。

予算審査特別委員会での主な質疑

屋内遊戯施設整備事業

問 専門職員を配置する予定はあるか。

答 リニューアルオープンに合わせ、施設管理の中で人員を増員して対応予定です。

問 子供だけの利用は可能か。

答 安全確保のため、保護者同伴での利用を考えています。



加齢性難聴者補聴器購入費助成事業

問 助成対象者と助成までの流れは。

答 両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の対象とならない方が対象となります。

まずは、補聴器相談医を受診し「補聴器適合に関する診療情報提供書」を作成してもらい、それをもとに、認定補聴器技能者が対象者に合った補聴器を選択します。



小中学校フッ化物洗口事業

問 10月開始とあるが、実施までの流れは。

答 歯科医師会及び各校へ協力依頼を行い、実施体制を構築するとともに、保護者に事業の目的や安全性を十分に説明し、希望調査を行ったうえで、必要な薬剤や備品を購入し、万全の体制で開始したいと考えています。



人間ドック等自己負担金無償化事業

問 対象者は。

答 40歳以上の国民健康保険被保険者が対象となります。

問 人間ドックと脳ドックを両方受診してもよいのか。

答 検査内容が異なることから、重複受診の制限は設けていません。

問 申込者多数の場合の対応は。

答 令和8年度は申込順となり、年度内に受診できなかった方については、次年度以降、優先して受診できるよう検討します。



You Tube
録画中継は
こちらから



中嶋 秀一
(自民公明クラブ)

使用済パソコンの無料回収の 周知強化を

様々な方法により定期的に
周知を図っていききたい

問 市ではリネットジャパンリサイクル株式会社と提携し使用済パソコンの無料回収をしているが、無料回収について市民への周知を強化する考えは。

答 市ホームページや年1回の広報とわだへの記事の掲載のほか、令和8年度版ごみカレンダーに、パソコンの無料回収などについてのQRコードを掲載しています。また、市公式LINEで年2回の周知を行う予定としており、今後も様々な方法により、定期的に周知を図っていききたいと考えています。

問 西地区シャトルバスを焼山地区まで延伸する考えは。

答 現在運行している路線バスと経路が重複してしまうことや長距離輸送に起因する経費の増加、路線バスの利用者数から推測してまとまった需要が見込めないことなどの理由から、現時点では難しいと考えています。

問 過疎対策事業債を活用し、休屋地区から市内中心部までの往復区間をタクシーで試験運用する考えは。

答 過疎債を活用した定期便の試験運用は、公共ライドシェアである公共交通空白地有償運送で可能と思われませんが、路線バスと競合しないような料金設定にすることや運転手を確保する等の課題があるため、運行事業者と運行体制を協議し、試験運用の可否について検討します。

問 市の防災対策に対する考えは。

答 令和8年度の組織再編において防災危機管理室を防災安全課に昇格させ、災害時に備える体制を強化するほか、市防災マップを更新し、災害リスクを周知していききたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

幼児教育アドバイザー 配置の体制整備を

県の事業を活用していく

問 専門的知見や豊富な実践経験を有する幼児教育アドバイザーを設置する考えは。

答 県において、令和5年8月から幼児教育アドバイザーを無料で派遣する幼児教育アドバイザー派遣事業を開始していますが、市内保育施設の利用状況は令和5年度に1件と少ない状況にあることから、現時点では市単独の配置は行わず、まずは県の派遣事業についての周知に努め、事業の活用を促していきたいと考えます。

問 地震発生時の県との連絡体制は。

答 市の地域防災計画に基づき、電話連絡や県総合防災情報システムの活用などにより、最も迅速かつ確実な方法で被害状況を報告しています。また、急を要する場合は、市長と知事とのホットラインにより直接連絡を取る仕組みも整えています。

問 他自治体からの応援要請への対応は。

答 県と県内全ての市町村との間で締結されている青森県市町村相互応援に関する協定により、被災市町村が県に対して応援を要請し、県からの依頼により必要な対応を行うこととなります。

問 市職員の「子の看護等休暇」制度の概要は。

答 小学校6年生までの子供を養育する職員が、負傷や疾病にかかった子供の世話や感染症予防等のための学校休業に伴う子供の世話などをする場合、子供が1人の場合は年5日、2人以上の場合は年10日の有給休暇を取得できます。

問 運動会や授業参観などの学校行事への参加を目的とした子の看護等休暇の取得は可能か。

答 現在、国や県内自治体において、式典以外の学校行事は休暇の対象外としていることから、本市においても対象外としています。



You Tube
録画中継は
こちらから



小山田 剛 士
(黎明親和会)

市長が描く 10年後の十和田市は

シビックプライドを持てる市へ

問 第3次総合計画で市長が描く10年後の十和田市の将来像は。

答 美しく豊かな自然環境、町なかに広がるアート、洗練された建築物、豊かな農畜産物など全国に誇れる上質な地域資源をさらに磨き上げ、全国へ発信しながら、企業や人材など新たな力を呼び込み、若い世代に選んでもらえる持続可能なまちづくりが、今後の市の発展に重要だと考えています。市民一人一人が本市に住む喜びや誇りを感じられる、いわゆるシビックプライドを持てる市として歩んでいける将来像を描いています。

問 計画策定にあたり、市民の声をどのように拾い、反映させるか。

答 年齢や性別等にかかわらず様々な立場の方の意見を集約するなど、多様な市民参画の機会を設けることとしています。具体的には、総合計画審議会や総合計画策定市民委員会の委員から意見をいただいているほか、市民、小中高生、北里大学生へのアンケートの実施、市民ワークショップ、若者ワークショップ、市ホームページでの意見募集などを実施し、多くの市民よりご意見をいただいています。各種ワークショップは令和8年度も実施し、分野ごとにグループを分け、基本構想実現のための具体的な施策について、ご意見を伺いたいと考えています。

問 ウェルビーイング（市民の幸福度）指標を計画にどのように生かすのか。

答 市民アンケートで把握したウェルビーイングは10点満点中6.4点であり、この数値を本市の基準値とし、第3次総合計画ではこの値を引き上げることを目標に施策を展開します。前期計画終了時に市民アンケートを実施し、基準値と比較して後期計画に反映させたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



氣 田 量 子
(自民公明クラブ)

憩いのカフェサロンの開催場所に 冷房設備設置を

主催者と連携しながら 課題解決に努める

問 東コミュニティセンターにおける「憩いのカフェサロン」は全世代が交流する心のインフラとして機能していると思いますが、開催場所のロビーには冷房設備がなく、熱中症のリスクが極めて高い状況にあるため、冷房設備を設置する考えは。

答 ロビーは、利用者が一時的にくつろぐための共用スペースであり、長時間の滞在を想定した設計ではないことや費用面の課題から冷房設備は設置していません。熱中症のリスクはあると認識しているため、夏季の期間中はすでに冷房設備が整備されている部屋を有効に利用するなど、開催場所の検討を含め、主催者の東地区コミュニティ推進協議会と課題解決に努めていきたいと考えています。

問 発災時の災害廃棄物の仮置場について、具体的なシミュレーションと円滑な処理に向けた今後の取組は。

答 令和8年度末までに災害廃棄物処理の「初動対応マニュアル」を作成したいと考えています。

問 現場の混乱を防ぎ、迅速な支援を届けるために、DXを活用した避難者マネジメントシステムを導入する考えは。

答 システムの導入は先行自治体の事例も参考に、検討を進めていきたいと考えています。

問 介護職員が専門業務に専念できる環境を整えるため、介護現場に隙間時間を活用して業務を担う有償ボランティアとのマッチングサービスである「スケッター」を導入する考えは。

答 新たな人材確保に資する有効な手法と捉えているため、現場の実情を把握し、導入の是非を検討したいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



笹 淵 峰 尚
(黎明親和会)

「稼ぐ行政」への転換を

成長重視の目標値を設定する

問 人口減少時代に市民サービスの水準と健全な財政を両立させるため、「稼ぐ行政」への転換を行政改革の新たな柱と位置づけるべきと考えるが、第3次総合計画に財務指標を設定する考えは。

答 自治体自らが稼ぐという視点を持ちながら、成果重視の目標値を設定したいと考えています。

問 次世代技術を持つ企業をターゲットとした誘致戦略を展開するため、旧藤坂農業試験場の活用について、サウンディング型市場調査を実施する考えは。

答 旧藤坂農業試験場は地方独立行政法人青森県産業技術センターが所有している施設であることから、市のサウンディング型市場調査の対象にはならないものと考えています。

問 令和8年に本市で開催される国スポ・障スポを稼ぐ大きな機会と捉え、予算をつけて若手職員が庁内ワークショップにより自ら収益事業を企画し、稼ぐ経営マインドを実践で学ぶ場として活用する考えは。

答 市をPRする絶好の機会と捉え、職員一丸となって市の魅力をしっかり届けるとともに、若手職員には費用対効果の視点を重視しつつ、地域経済の活性化を図り財源を生み出す柔軟なアイデアが期待されることから、積極的に活用していきたいと考えています。

問 公共施設等照明LED化事業により電気代が1年あたり約3,300万円削減される見込みとのことだが、削減された額を次の脱炭素投資に優先的に充てる考えは。

答 削減された額にかかわらず、脱炭素に係る事業は実施していきたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

市の農業の展望は

持続可能な農業の実現に向け 取り組んでいく

問 市の農業のこれからの展望は。

答 持続可能な農業の実現に向け、令和8年度は意欲ある農業者に機械設備導入を支援するとわだの農業力サポート事業、農作業の省力化に有効なスマート農業技術導入支援事業、担い手の確保を図る認定新規就農者支援事業、労働力不足の解消を図る農業バイトアプリの活用をはじめとする様々な事業に取り組めます。また、とわだ産品販売戦略課を産業振興課に改称し、6次産業化や農商工連携、ふるさと納税の活用などにより、とわだ産品のブランド力向上を図るとともに、新設するシティプロモーション課で、これらの魅力を国内外に強力に発信するなど、部局横断的な取組により農業所得の向上を支援していきます。農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、農家の皆様が将来に希望を持ち、十和田市で農業を営むことに喜びと誇りを感じられるよう取り組んでいきたいと考えています。

問 農業用水の確保は十分か。

答 農業用水は、土地改良区などにより維持管理され、必要水量が供給されています。当市では農業用水の不足による営農への支障は生じていません。

問 消防団への加入を推進するにあたり、団の行事後の集まりの多さが原因となり家族から難色を示されることがあるとの声を聞くが、市から集まりを減らすよう働きかけることはできないか。

答 団の行事後の集まりは、団員同士のコミュニケーションの一環と捉えており、団員の負担や地域の状況を考慮した上で円滑な活動が維持されるよう努めていきたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



太田正幸
(立憲農民クラブ)

教員に不足が生じた際の 補充の方策は

退職した教員へ声かけをしている

問 教員に欠員が生じた際の補充の方策は。

答 県の定める教職員配置基準に基づき、県が自ら配置しておりますが、県の要請に応じて市では退職した教員へ声かけを積極的に行い代替教員の確保について協力しています。

問 市独自の欠員補充制度を構築する考えは。

答 県では、講師等希望者をあらかじめ登録し、人材を確保する欠員補充制度を既に実施しているため、市独自で制度を構築することは考えていませんが、県に対して教員の欠員が生じないように引き続き強く働きかけていきます。

問 地域全体で子供を支える体制を強化するため、学校運営協議会の委員を増員する考えは。

答 各校から、より多様な視点を取り入れ、効果的な運用を図るために委員を増やしてほしいとの要望を受け、令和8年度から委員定数を現在の7名から10名へと拡充することを提案しています。

問 学校施設整備の進捗と計画は。

答 学校の長寿命化改修工事は、十和田中学校と東中学校は令和8年度を予定、北園小学校と三本木小学校は今後計画的に実施、ちとせ小学校は改築事業を予定していましたが、施設規模などの再検討を行います。そのほか、長寿命化改修に適さない第一中学校、法奥小学校、藤坂小学校、甲東中学校については、児童生徒にとって安全安心な教育環境が提供できるよう、必要な修繕に努めていきます。

問 中央病院の資金不足比率が20%を超えないよう財政的支援をすべきと考えるが市の考えは。

答 病院の自助努力だけでは難しい物価高騰分に対する支援を行うため、補正予算を追加提案することで進めています。



You Tube
録画中継は
こちらから



工藤正廣
(柵の会)

インフラや行政サービスの 集約化を

地域性に一致しない面もある

問 加速する少子高齢化や、社会保障費等が毎年確実に増えている状況下で、限られた収入で市民サービスを継続していくためには、インフラや行政サービスを賢く集約して効率化を図るスマートシュリンクの考え方が必要と思うが、市の考えは。

答 人口減少を踏まえた行政運営における一つの考え方であると思いますが、当市は行政区域が広く、1つのエリアにインフラなどを集約するという形は、地域性に一致しない面もあります。よって、拠点となるエリアを設け、インフラやサービスをそのエリアごとに集約しつつ、そこから中心市街地に至るネットワークを構築するという手法も論理的にはあり得ると考えています。

問 日本病院経営支援機構理事長の豊岡宏氏をアドバイザーとして経営状況を分析した経営改善報告書を踏まえた病院の経営状況と令和8年度の見込みは。

答 報告書中の具体的な提言として、人口減少による今後の患者数の見直し等を踏まえた病床稼働率の向上、集患営業の強化、病床コントロールの徹底、効率的なDPC入院期間の運用、コスト削減対策の実施、人件費を意識した体制の見直し等がありました。その中から経営改善に結びつくものとして、院内では令和7年11月にベッドコントロールチーム、救急強化チーム、地域連携強化チームを設置して取り組んだ結果、令和6年度と比較して令和7年度は約7億円の収支改善を見込んでいます。令和8年度も、引き続き、経営強化チームの取組や診療報酬改定のきめ細かな対応等で収支均衡に努めていきたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



久慈年和
(立憲農民クラブ)

国民健康保険証の有効期限後の 資格確認書の対応は

期限が切れる前の
7月中旬に送付する

問 マイナ保険証を持っていない方が利用する資格確認書の有効期限が令和8年7月31日になっているが、令和8年8月1日以降の資格確認書の対応は。

答 当市の国民健康保険資格確認書の有効期限は、これまでの保険証と同様に最大で1年間、毎年7月31日までと設定しています。更新については、有効期限が切れる前の7月中旬に、翌年度の7月31日を有効期限とした資格確認書を送付することにしています。

問 令和7年に、三本木小学校仲よし会の定員を引き上げたが、入所を希望する児童は入所することはできたか。

答 令和7年度当初は定員を超える申込みがあり、利用できない児童が39人いたことから、小学校1年生から5年生の保護者に対し、利用希望調査を実施した結果、13人が利用を希望していたため、定員を105人から29人増員した134人とし、12月からは希望する全ての児童の受入れを開始しています。

問 令和7年度から導入した仲よし会障がい児受入推進事業の実施状況は。

答 障がいを持つ児童や発育に不安を抱える児童を含めた全ての児童が放課後を安全、安心に過ごすことができるようにするため、定員の過半数の児童が在籍し、かつ障がいを持つ児童等が利用している仲よし会に対し、受入れに必要な専門的知識を有する支援員を追加で配置しています。支援員は、三本木小学校仲よし会、ちとせ小学校仲よし会に各3人、南小学校仲よし会に2人、東小学校仲よし会、藤坂小学校仲よし会に各1人で、合計5施設10人配置しています。



You Tube
録画中継は
こちらから



小笠原良子
(日本共産党)

加齢性難聴者への補聴器 購入助成額は

1件当たり上限3万円に設定

問 高齢者の積極的な社会参加を促進するため、令和8年度から加齢性難聴者への補聴器購入助成を実施するようだが、助成額はいくらか。

答 県内の先行自治体や全国的な傾向を参考に、1件当たり上限3万円に設定しています。本事業は新しい取組であることから、まずは内容の周知に努め、対象となる方が適切に助成を受け、購入後も補聴器を継続して使用できるよう支援していきたいと考えています。

問 耳が聞こえにくい若年者が増えており、放っておくと、認知症やうつ病、社会的孤立につながる恐れがあるため、若年者に対する補聴器購入についても助成するべきと考えるが、市の見解は。

答 身体障害者手帳の交付対象とならない18歳以上の軽度・中等度難聴を対象とした補聴器購入に当たっては、社会生活やコミュニケーションを補助するために必要なものであり、購入の負担が大きいことも認識しています。しかしながら、現時点では限られた予算の中で、まずは加齢性難聴者を対象とした助成を始める予定としており、18歳以上の補聴器の購入助成については、その状況を踏まえ調査研究していきます。

問 風力発電事業について、市独自の保全条例をつくる考えは。

答 青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生に関する条例のゾーニング設定において、市から自然公園法に規定される地域を保護地域に組み入れるよう意見を提出しており、それらが反映された条例となっていることから、再生可能エネルギーと自然との共生という目的を十分に果たしていると考えており、市独自の保全条例を制定する考えはありません。



You Tube
録画中継は
こちらから



山田 洋子
(柊の会)

災害時における応援協定の 内容確認や更新は

年度はじめに見直しの 有無などを確認したい

問 災害時における応援協定は、締結から年数が経過している協定があるが、内容の確認や更新を行っているのか。

答 市が協定を締結している全ての団体に対し、年度初めに内容の見直しなどの有無を確認したいと考えています。

問 東北電力ネットワーク株式会社との協定について、倒木等による停電防止と復旧迅速化を目的とした協定の見直しをする考えは。

答 倒木による停電や道路の機能に支障を及ぼすおそれがある樹木を事前伐採することについて、協定書の変更手続きを進めています。

問 教育相談室「トワハート」や教育支援室「わかこま」などに通室しておらず、支援の手が届いていない不登校児童生徒はいるか。

答 通室している児童生徒だけに支援が行き届いているということではなく、小中学校において、校内教育支援センターでの支援、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援、家庭訪問など個別の状況に応じた対応により、支援の手が届いていない児童生徒はいません。

問 不登校の状態が続いたまま中学校を卒業する生徒やその保護者にどのような支援の窓口を案内しているのか。

答 義務教育終了後の支援については、生徒一人一人の進路が異なり個々に応じた適切な配慮が必要なことから、中学校から進学先へ情報提供を行うほか、家庭環境に継続的な支援が必要な場合には、こども家庭センターを中心として関係機関と協力しながら支援しています。18歳以降も、関連部局が連携し、必要とする支援を途切れさせない体制づくりに努めていきます。



You Tube
録画中継は
こちらから



中尾 利香
(自民公明クラブ)

生ごみ回収事業の今後の方向性は

さらなる生ごみの減量に努める

問 一部の町内会の協力により、生ごみ回収事業を行っているが、今後の方向性は。

答 当市が目指すゼロカーボンシティの実現に向けて重要な取組であることから、今後さらに多くの町内会にご理解とご協力を頂きながら、生ごみの減量に努めていきたいと考えています。

問 生ごみの水切りを行う電動式生ごみ処理機の貸出しを行っているが、購入のための補助をする考えは。

答 貸出し後の使用者アンケートでは、軽くてごみ出しが楽になった、生ごみの量が激減した、補助があれば購入したいなどの意見が多数あったことから、電動式生ごみ処理機などの購入補助として、令和8年度一般会計当初予算に40台分、80万円を提案しています。

問 親亡き後の障がい者への支援について、市として今後どのように支援をしていくのか。

答 障がいのある方の高齢化や重度化、親亡き後に備えるとともに、地域生活において障がいの特性に起因した緊急事態やその家族の支援が見込めない状態に対応するため、令和4年7月から地域生活支援拠点等事業を実施しています。この事業は、緊急事態があった場合に、事前の登録情報に基づいて障がい福祉サービス提供事業所と連携し、適切にサービスが利用できるように支援を行うもので、これまでに登録されている方は22人います。市としては、令和8年度に策定する第3次十和田市障がい基本計画及び第8期障がい福祉計画に登録者の目標値等を設定し、支援実績の検証を行うほか、専門性や経験を有した地域の関係支援者にご協力いただき、利用者やご家族の希望に添った暮らしができるよう、必要な備えを検討していきます。



You Tube
録画中継は
こちらから



江渡 信貴
(自民公明クラブ)

ふるさと納税の寄附単価を 上げるための考えは

魅力的な返礼品の充実に努める

問 ふるさと納税の寄附単価を上げるために、どのような考えを持っているか。

答 ふるさと納税による自主財源の確保は重要な施策の一つと捉えています。豊かな農畜産物や観光資源がある本市のふるさと納税は、まだまだ伸び代があると考えており、機を捉えて市の魅力とふるさと納税のPRに努めています。令和8年度は寄附額の目標として3億円を掲げ、外部専門家からの助言、指導等により付加価値の高い商品づくりを行い、とわだ製品のブランド力向上に努めながら、市と寄附者をつなぐ中間事業者の業務を見直し、寄附額の増を図るとともに、寄附単価を上げていくことも重要な要素であるため、今後は寄附者がお得感を感じられる大容量の返礼品など、寄附単価の上昇につながる魅力的な返礼品の充実に努めていきたいと考えています。

問 にんにくや肉、アップルパイ、ヨーグルト等、当市の主要な返礼品は定期便との相性が非常によいと考えるが、定期便や5万円以上の高額返礼品の導入についての取組状況と今後の方針は。

答 定期便の返礼品は、食肉関係2事業者の7品、5万円以上の高額返礼品は全350品のうち59品となっています。昨年9月から出品した定期便の返礼品の例では、既に14件の寄附があるなど定期便や高額返礼品は、寄附単価の引上げが期待できることから、積極的に事業者へ働きかけ拡充を図っていききたいと考えています。

問 ふるさと納税は、11月から12月にかけて寄附が集中するため、この時期のマネジメントが年間の寄附額を左右すると考えるが、年末に向けた取組をどのように考えているか。

答 寄附受付ポータルサイト2社において有料広告を行い、需要の取り込みを図っています。



You Tube
録画中継は
こちらから



竹島 直樹
(柵の会)

市の地下水、^{こかつ}枯渇のおそれは

可能性は低いと推測

問 関東で井戸水が枯れて出なくなったとのニュースがあったが、市が取水する地下水が枯れるおそれは。

答 市の水源は昭和53年から取水を開始しており、芳川原浄水場中央監視室で毎日記録している直近5年間の管理日報では、水位低下は起きていないことを確認しているため、地下水の枯渇の可能性は低いものと推測されます。また、突発的な事故や老朽化による施設の改修事業の際に必要な代替井戸の確保のために、令和7年度に実施した水源調査により、同等の水量を見込める新たな水源を確認できたことから、これらを活用することで水不足のリスクは軽減できると考えています。

問 保育料無償化事業の財源に国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するようだが、この交付金は、物価高騰に苦しむ全市民への支援に活用すべきと考える。他市では、県の交付金を活用し、保育料無償化事業を行う自治体もあるようだが、当市が国の交付金を活用することとした理由は。

答 市では、持続可能な財政運営を行うため、国の補助金を積極的に活用するとともに、限られた財源を真に必要な事業に重点配分するという考えの下、予算編成に取り組んでいます。保育料無償化事業については、国交付金の推奨メニューにあることから、一部を活用し事業を実施することとして予算計上していますが、その後、県より保育料無償化が活用事業として推奨されている「令和8年度学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」の拡充案が示されたことから、詳細が分かり次第、県交付金も財源の一部に充当したいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから



戸 来 伝
(柗の会)

おらんどーむの改修に 県の支援を活用する考えは

有利な財源を見つけ、検討

問 おらんどーむのグラウンドを土ではなく、人工芝にすべきと考えるが、ふくちアイスアリーナ改修では県の支援を受けて行ったように、当市でも県の支援を受けて、整備を行う考えは。

答 一般財源で整備することは考えておらず、整備する場合は補助金や起債など有利な財源を見つけ、検討していきたいと考えています。

問 郷土芸能への現状認識と支援の方向性は。

答 神楽、駒踊、鶏舞などの民俗芸能は、先人たちの豊かな文化や生活を今に伝えるとともに

に、地域社会の結びつきを深めて地域の活力にもなってきた重要な文化遺産と捉えています。現在市内には13の民俗芸能団体があり、集落の行事や各種イベント等に出演し技芸を披露していますが、技芸の習得には年数を要することから、若者の担い手不足や奏者の育成は引き続き重要な課題であると考えています。そこで、令和8年度は、民俗芸能の継承や保存を図り、後継者確保につながるよう市民や市内外に広く周知するPR動画を制作することとしており、受け継がれてきた地域の民俗芸能が今後も継承されていくよう、地域や団体とともにその保存に取り組んでいきたいと考えています。

問 コミュニティセンターをどのように充実させる考えか。

答 過去の経緯や地域の需要、地理的条件などを踏まえた上で、適切な判断の下に整備を進めてきましたが、東西南北全ての地域に均一な施設を整備することは困難であると考えています。市としては、既存施設の活用や近隣施設との連携を踏まえて、活動拠点を共に考えて支援していきたいと考えています。

本会議・各委員会の議員出欠状況

令和7年第4回定例会終了後から令和8年第1回定例会まで ※「○」は出席、「×」は欠席、「-」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員					観光建設常任委員					民生福祉常任委員					出席人数(人)					
		江渡信貴	笹淵峰尚	山端美樹子	竹島直樹	小笠原良子	久慈年和	工藤正廣	今泉信明	中嶋秀一	小山田剛士	中尾利香	山端重美	戸来伝	山田洋子	太田正幸		氣田量子	堰野端展雄	小川洋平	石橋義雄	
3月 2日(月)	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
1月23日(金)	観光建設常任委員会	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	7	
2月26日(木)		-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	7	
1月13日(火)	民生福祉常任委員会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	5	
3月 4日(水)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	5	
2月18日(水)	議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	×	-	○	9
2月24日(火)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10
3月16日(月)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	10
3月18日(水)		○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	×	○	○	-	-	-	○	○	-	○	9
3月 3日(火)	議会改革特別委員会	×	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-	6	
1月21日(水)	病院経営改革特別委員会	-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	8	
2月25日(水)		-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	8	
2月24日(火)	第1回定例会(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月 6日(金)	第1回定例会(一般質問①)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月 9日(月)	第1回定例会(一般質問②)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月11日(水)	第1回定例会(一般質問③)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
3月18日(水)	第1回定例会(閉会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19
3月13日(金)	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	19
3月16日(月)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

～観光建設常任委員会所管事務調査報告～

○農産物のPRについて

単なる事業実施に留まらず、数値目標を明確に設定した上で事業の効果検証を行っていただきたい。また、ふるさと納税については、中間事業者のノウハウを最大限に活用しながら、より一層推進していただきたいと意見集約しました。

○鳥獣被害対策について

鳥獣被害が依然として深刻な状況であることを踏まえ、新規事業についてはその効果や影響を慎重に検証しつつ、従来の対策についても見直しを行いながら進めていただきたいと意見集約しました。

十和田市議会サイバーセキュリティを確保するための方針を策定しました

十和田市議会が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、本市議会が実施する情報セキュリティインシデント対策について基本的な事項を定めた方針を策定（令和8年3月18日）しました。

方針は、市ホームページでご覧いただくことができます。



～民生福祉常任委員会所管事務調査報告～

○障がい児支援について

障がい児支援事業は国の制度に基づくものであり、施設不足等の現状や課題を県へ伝えていくとともに、関係機関と連携を図り、福祉・教育の枠を超えて、行政として包括的な支援体制の構築に努めていただきたいと意見集約しました。

～病院経営改革特別委員会中間報告～

委員会設置からこれまで7回に渡り委員会を開催し、中央病院事務局から収支状況などの説明を受け現状把握を行ったほか、参考人から経営のアドバイスをいただき、審査を行ってきました。

委員からは、中央病院が「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、一般社団法人日本病院経営支援機構理事長豊岡宏氏に依頼し、作成していただいた経営改善報告書に記載された取組を実施していただきたい等の提案がありました。

今後は、経営改善を図るための具体的な提言をするために必要な協議を進め、一定の結論を導き出したいと考えています。

請願・陳情

継続審査

○(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願

令和8年第2回定例会の開催予定

5月28日(木) 本会議 (開会)

6月11日(木)

12日(金)

15日(月)

} 一般質問

6月17日(水) 本会議 (閉会)

※会議の開始はいずれも午前10時からです。

※各常任委員会の開催予定日は未定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

令和8年度当初予算などを審議する3月定例会が閉会し、人口減少等の課題を見据えた活発な議論が交わされました。

また、現在策定中の第3次総合計画においては、若者や市民参加のワークショップが開催されるなど、市民と行政がともに知恵を絞る「協働のまちづくり」への機運が高まっています。

第3次総合計画の策定を通じて感じた「協働のまちづくり」の機運を大切にしながら、皆さんと一緒にまちづくりを進めていきたいと思えます。引き続きよろしくお祈りします。

(文責 笹 淵 峰 尚)

議会だより編集委員会

委員長 中 尾 利 香 副委員長 竹 島 直 樹
委員 山 端 美 樹 子 委員 太 田 正 幸
// 笹 淵 峰 尚 // 山 端 博
// 斉 藤 重 美 // 江 渡 信 貴

